

日本語の名詞述語文に関する序論的研究

王 燕*

A Preliminary Study of Noun-Predicates in Japanese

Wang Yan*

日本語の名詞述語文に関する序論的研究

王 燕*

A Preliminary Study of Noun-Predicates in Japanese

Wang Yan*

Received December 5, 2014

Abstract

This study aimed to investigate the possibility of how to master Japanese in a way more Japanese-like and more efficient through teaching of syntactically simple sentences composed of noun predicate. Expressions are rather natural whether in verb sentence or in adjective sentence in Chinese, while same in Japanese is found mainly in noun predicate sentence. Why? In order to make a thorough study toward such a syntactical character and take the Japanese noun predicate sentence as final research object, a try is made to pattern it on the basis of language facts. This study provides an introduction hoping to be of help both to the Chinese mother tongue's Japanese learning and the Japanese mother tongue's Chinese learning.

1. はじめに

中国語母語話者の日本語学習者の授受表現における理解と産出との間にギャップがあることは王 (2010) の研究によって明らかにされている。しかし、授受表現だけではなく、中国語母語話者の日本語の名詞述語文の習得にも、理解と産出との間のギャップが見られる。即ち、理解はできるが、産出はできない。できないといっても、名詞述語文は日本語母語話者に頻繁に使われていることに気づきさえすれば、そのうちに自分の口から名詞述語文が出てくるであろう。残念なことに、専攻として日本語を四年間学習した人の中にも、この日本語の事実を知らない人は少なくない。

名詞述語文とは、述語の品詞が名詞である文のことを言う。《総合日語》を例に取って見れば、次の (1) ~ (4) はいずれも名詞述語文である。

- (1) こちらは高橋美穂さんです。
- (2) その人は姉の婚約者です。
- (3) 京華大学は 1952 年創立の総合大学です。
- (4) 言葉の勉強は「日々の努力の積み重ね」です。

*北陸大学孔子学院 Confucius Institute at Hokuriku University

初心者である学習者にとっては、(1)～(4)のような名詞述語文を(5)～(8)のように中国語に訳すことは、それほど難しいことではない。

- (5) 这位是高桥美穗同学。
- (6) 那人是我姐姐的未婚夫。
- (7) 京华大学是所创建于1952年的综合性大学。
- (8) 语言的学习需要“日积月累的努力”。

しかし、(7)と(8)のような中国語を初心者の学習者に日本語で表現してもらう場合、果たして(3)～(4)のような日本語で表現することができるかどうかは疑わしい。というのは、「総合大学」の修飾語は名詞句ではなく、「1952年に創立した」という動詞句になる可能性が大きい。そして、訳文に「是」が使われているのは(5)～(7)の共通点であるのに対し、(8)では「是」が使われていない。同じ名詞述語文であるにもかかわらず、「是」入れて訳される場合と、“是”抜きで訳される場合がある。前者に比べて、後者のほうの日中両国語における対応関係が学習者にとっては、より把握しにくいことは言うまでもない。(4)のような日本語を(8)のような中国語とするのは、理解しやすいのにも関わらず、(8)のような中国語を必ずしも(4)のような日本語に表現できるとは限らないところに、学習者の日本語の言語表現における理解と産出との間にギャップがあると考えられよう。

そこで、本稿では、中国語では通常動詞文や形容詞文で対応させる日本語の名詞述語文を考察対象として取り上げ、中国語との対比を行いながら、序論的考察を試みる。なお、中国語訳のない例文の中国語訳はすべて筆者による。

2. 先行研究

名詞が「だ」「である」などを伴って文の述語として機能する文は通常、名詞述語文と呼ぶ。一口に「名詞述語文」といっても、文によって表される意味関係は多様である。日本語の名詞述語文は、「わたしは田中です」のような、「わたし」と「田中」が入れ替えられる、いわゆる指定文と、「田中さんは会社員です」のような、「田中さん」と「会社員」が入れ替えられない、いわゆる指定文とに大きく分けられている。今までは、意味論的な観点から、これらの名詞述語文についての考察は盛んに行われてきた。また、語用論的な観点から、「わたしはウナギだ」のような、場面や文脈に大きく左右される名詞述語文についての考察も多く見られる。しかし、言語習得の立場から、日中対照という観点からの名詞述語文についての考察は管見の限り、まだ見当たらない。

高橋(1984)は、日本語の名詞述語文がどのような意味関係を表すかについて詳細に記述している。名詞述語文によって表される関係には「動作づけ」、「状態づけ」、「性格づけ」と「同一づけ」があるとされる。挙げられた例文には、“是”入れて訳さなければならないのもあれば、“是”抜きで訳しないと自然な中国語にならないものもある。例えば、「状態づけ」の例として、挙げられている次の名詞述語文はいずれも、“是”なしで中国語に訳したほうが自然である。

- (9) 震災の時、彼女は一年生だった。
- (9)′ 地震的时候，她上一年级。
- (10) おめえらは寝る時間だ。
- (10)′ 你们该睡觉了。
- (11) おれはいい気持ちだ。

(11) ' 我心情好极了。

(9)' は“地震的时候，她是一年级学生。”と訳すこともできるが、(10)' と (11)' は“是”の入る余地はない。

高橋 (1984) は、名詞述語文が表す関係の多様性を示してくれたと同時に、日中対照の観点から名詞述語文を考察するヒントも与えてくれた。

3. 研究動機と目的

構文的にシンプルな名詞述語文の指導を通じて、日本語らしい日本語を効率よく習得していく可能性を探ることが本稿のそもそもの研究動機である。最終目的は、何故日本語は、中国語の動詞文や形容詞文で表現することになる物事までカバーする名詞述語文がたくさん使われているのか、という疑問への究明である。しかし、この究明作業は言語事実を踏まえた上でのものでなければならないし、紙幅の関係上、一本の論文でとても完結させにくいので、本稿は名詞述語文に関する研究の第一歩として、序論的考察を行うことを目的とする。

4. 本稿における名詞述語文

本稿で取り上げる名詞述語文は、述語が「名詞または名詞句+だ¹」の形の文でありながら、“是”なしで中国語に訳すことのできるもの¹に限る。また、次のような名詞述語文も本稿の考察対象から除外される。

(12) あいつは古だぬきです。

(12)' 那家伙是只老狐狸。

述語になると、名詞が持っていた実体性がなくなり、その事物に与えられている属性の面が現れ、属性を叙述する機能を帯びてくる。(12)の「古だぬき」は動物そのものを表すのではなく、古だぬき的な性質を表すことになる。このような比喻を媒介にしている名詞述語文は本稿の研究対象とはならない。

本稿で取り上げる名詞述語文における述語名詞は、意味の如何にかかわらず、「だ」「である」などをつけると述語になる名詞のことである。それは、単純語の名詞のみではなく、複合名詞も含まれる。また、実質名詞のほかに、形式名詞も含まれる。さらに、慣用句や諺などが述語に使われる時も一つの名詞と見做す。

一口に「名詞」と言っても、活用のない中国語に比べてみると、日本語の名詞には、次のような中国語の名詞に見られない特徴がある。

1) 名詞でありながら動作や状態を表す

I・IIグループ動詞²の「ます形」とIIIグループ動詞の語幹は、品詞分類上では、名詞とみなされてはいるが、意味的には動作や状態を表すことになる。

I・IIグループ動詞の活用形の一つである「ます形」は、そのまま名詞として使われる。中には、元の動詞と意味がほとんど変わらないものもあれば、元の動詞の意味からだいぶ離れた意味になるものもある。例えば、「休む」という動詞の「ます形」は「休み」で、「休む時」と言う場合の意味と「休みの時」と言う場合の意味はほぼ同じである。一方、「働く」という動詞の「ます形」である「働き」は、“劳动、工作”という動詞的な意味から“作用、效能”という名

詞的な意味に早変わりしたのである。また、Ⅲグループ動詞の中の「する動詞」の語幹は名詞として使うこともできる。中には、複合名詞や名詞節には使われるが名詞述語にはなりにくいものもあれば、複合名詞や名詞節にも使われるし名詞述語にもなるものもある。前者は「勉強」のようなもので、後者は「留守」のようなものである。

- (13) 日本語の勉強が楽しい。(名詞節)
- (14) ? 昨日の午後は勉強でした。(名詞述語)
- (15) 私が留守番をしましょう。(複合名詞)
- (16) 昨日は留守でした。(名詞述語)

日本語は、動詞の活用形と語幹のほかには、動作や状態を表す複合名詞も豊富である。「ペンケース」や「勉強机」のような名詞の意味をより具体的に限定する複合名詞がある一方、動作や状態を表す複合名詞の数も夥しい。「アパートを探す」ことを「アパート探し」と言い、「故郷に帰る」ことを「里帰り」と言う。次の文の述語の「日帰り」は「その日のうちに帰る」という意味の名詞である。

- (17) 今度の旅は日帰りです。

(16) と (17) の名詞述語文を中国語で表現すると、状態や動作を描写する動詞文になる。

- (16) ' 我昨天没在家。
- (17) ' 这次旅行当天去当天回。

2) 副詞との共起

中国語では、副詞の修飾を受けられるのは名詞ではなく、状態・属性を表す形容詞か動作・行為を示す動詞かのどちらかである。しかし、日本語では次のように、副詞が名詞述語の修飾語にもなれる。

- (18) 彼女はとても美人です。
- (18) ' 她很美。
- (19) もうすぐ冬休みです。
- (19) ' 马上就要放寒假了。

「美人」「ハンサム」のような「名詞が述語成分となるとき、形容詞のような特徴を発揮することがある」との指摘がある³。(18) (19) の日本語はいずれも名詞文であるのに対し、その中国語訳は形容詞文だったり、動詞文だったりする。従って、学習者に (18) (19) の中国語訳を日本語で表現してもらおうと、名詞述語文ではなく、次のように、形容詞文や動詞文の産出がほとんどである。

- (20) 彼女はとても美しい。
- (21) もうすぐ冬休みになります。

5. 日本語の名詞述語文

このセクションでは、構文上の特徴に基づいて日本語の名詞述語文の分類を試みる。

5. 1. 単純語の名詞が述語となる場合

次の文の述語名詞は、形の上では名詞や名詞句であるが、意味的には動作を表したり、状態を表したりするものなので、中国語に訳すと、動詞文や形容詞文になるのが普通である。なお、紙幅の関係上、対応する中国語を日本語の文の後に付ける。

(22) 時間だよ。	到时间了。
(23) 風邪ですか。	感冒了吗？
(24) 約束ですよ。	说好了啊。
(25) 明日は遠足です。	明天去郊游。
(26) 昨日は雨でした。	昨天下雨了。
(27) 週末も残業ですか。	周末也加班吗？
(28) 来年は定年です。	明年我就退休了。
(29) 今日の気分は最低だ。	今天的心情坏极了。
(30) セーターが裏ですよ。	你把毛衣穿反了。
(31) 人質の安全が第一だ。	人质的安全最重要。
(32) 私の話は以上です。	我就说这些。
(33) 一と二の和は、三だ。	1 加 2 等于 3。
(34) 彼の成績はトップだった。	他的成绩最好。
(35) まずは乾杯だ。	咱们先干杯吧。
(36) 私は金曜の午前以外はフリーです。	我除了周五上午都有空。
(37) スキー場に雪があるかどうか心配だ。	不知滑雪场有没有雪，很担心。
(38) 今日のパーティーは赤字だった。	今天的晚会入不敷出了。
(39) 夜更かしは禁物だ。	切忌熬夜。
(40) 勝つも負けるも時の運だ。	胜负全看时运了。
(41) いつもご面倒をお掛けして恐縮です。	老麻烦您，真过意不去。
(42) 北京はいまお祭り気分だ。	北京现在充满着节日气氛。
(43) 明日の3時間目は試験です。	明天第3节课考试。

次の例文における述語名詞は、共起する助詞や副詞、それに述語名詞の修飾成分などの助けがなければ、中国語訳のような意味にはなりにくい。

まず、助詞の役割が生かされていると思われる名詞述語文を見てみよう。下線は筆者による。

(44) どなたに <u>ご用</u> ですか。	您找哪位？
(45) オリンピックは4年 <u>に</u> 1回です。	奥运会每四年举行一次。
(46) 会員証は今月末 <u>まで</u> 有効です。	会员卡至本月末有效。
(47) その仕事は子供には <u>無理</u> ですよ。	那项工作对孩子可不合适啊。
(48) 先生はいつ <u>まで</u> 金沢ですか。	老师在金泽呆到什么时候啊？
(49) 彼は誰と <u>でも</u> 仲良しだ。	他跟谁都很友好。
(50) 彼は私 <u>より</u> 三つ年上だ。	他比我大三岁。

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| (51) 君とは絶交だ。 | 我和你断绝关系。 |
| (52) 君の意見に賛成だ。 | 我赞成你的意见。 |
| (53) 徹夜は体に毒ですよ。 | 熬夜对身体可不好噢。 |
| (54) 警官は交通整理に汗だくだ。 | 警察为了维持交通忙得满头大汗。 |
| (55) あと数日で桜が満開です。 | 再过几天樱花就开了。 |
| (56) 坂道を 5 分歩くと山門です。 | 走 5 分钟坡路就到寺门。 |
| (57) ピリ <u>から</u> 二番目だ。 | (我) 倒数第二。 |

学習者に (52) の中国語訳を日本語に言い直してもらったら、圧倒的に多かったのは「君の意見を賛成します」という言い方だった。母語からの干渉だと思われる。

(44) ～ (57) のような名詞述語文の習得は、日本語の助詞の文中での役割への理解を深めることにも繋がりそうである。

次に、副詞との共起が特徴である名詞述語文を見てみよう。

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| (58) もうすぐ中秋節だ。 | 快到中秋节了。 |
| (59) 彼はかなりハンサムです。 | 他很帅。 |
| (60) そろそろタイムアップです。 | 快到时间了。 |
| (61) 来年は息子もようやく卒業だ。 | 明年儿子也总算要毕业了。 |
| (62) 中国の人口は <u>だいたい</u> 13 億です。 | 中国的人口大概有 13 亿。 |

次の名詞述語文も、単純語名詞の前の修飾成分なしには、対応する中国語の意味にはなりにくい。

- | | |
|---------------------------------|--------------|
| (63) <u>高</u> そうなコートですね。 | 这件大衣看上去很贵嘛。 |
| (64) <u>暖か</u> そうなセーターですね。 | 这件毛衣看上去很暖和啊。 |
| (65) <u>丈夫</u> そうなバッグですね。 | 这包看上去很结实嘛。 |
| (66) <u>すごく履き心地がよさ</u> そうな靴ですね。 | 这鞋看上去穿着很舒服嘛。 |
| (67) <u>たくさん入り</u> そうなリュックですね。 | 这双肩背包好像很能装呢。 |

中国語の動詞文や形容詞文で対応させる日本語の名詞述語文には、形容詞や「名詞＋の」などのような修飾成分なしには、それに対応する中国語の意味にならないものもある。

- | | |
|----------------------------------|----------------|
| (68) <u>ひどい</u> 渋滞ですね。 | 车堵得真厉害啊！ |
| (69) <u>みんないい</u> 笑顔ですね。 | 大家都笑得好开心啊！ |
| (70) わあ、バス乗り場、 <u>すごい</u> 人だね。 | 哇，公交车站好多人啊。 |
| (71) 彼女は <u>あっさりした</u> 性格です。 | 她性格很开朗。 |
| (72) 手術後は <u>寝たり起きたり</u> の生活だ。 | 手术后，过着时起时卧的生活。 |
| (73) この車は <u>スポーツカー並み</u> の性能だよ。 | 这车的性能赶上跑车了。 |

学習者にとって、上述した名詞述語文は理解しやすい。しかし逆に、それぞれの中国語訳を日本語で表現させるとなると、日本語の名詞述語文に馴染んでいなければ、シンプルな構文形式で表現することにはなかなか思いつかない。

5. 2. I・II グループ動詞の「ます形」が述語となる場合

次のような名詞述語文における述語名詞は、いずれも I グループ動詞の「ます形」そのものが使われている。このような名詞述語文は膠着語である日本語ならではの言い方としか言えない。

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| (74) 誰の話ですか。 | 你们说谁呢？ |
| (75) 何の話ですか。 | 你们说什么呢？ |
| (76) ひどい汚れですね。 | 真够脏的。 |
| (77) 今日は私の奢りです。 | 今天我请客。 |
| (78) いまは結果待ちです。 | 现在在等结果。 |
| (89) 今月は 2 万円の使い込みです。 | 这个月超支了两万日元。 |
| (80) 彼の家は私の家の斜め向かいです。 | 他家在我家的斜对过。 |
| (81) 昨夜のサッカーの試合は、ドイツの勝ちだった。 | 昨晚的足球赛，德国赢了。 |
| (82) 二人の実力は段違いです。 | 两个人的力量相差悬殊。 |
| (83) この車は 5 人乗りです。 | 这辆车能坐五个人。 |
| (84) 介助犬は法律上ではまだペット扱いです。 | 救助犬在法律上仍被看作宠物。 |
| (85) 今日のミーティングはこれで終わりです。 | 今天的会就到这儿。 |
| (86) この先は行き止まりです。 | 这条路走不通。 |
| (87) これじゃ、遠回りじゃないの？ | 这么走，绕远吧？ |
| (88) 申し込みの受付は、明日で締め切りです。 | 受理报名到明天截止。 |

もともと動作や状態を表す I・II グループ動詞は、その「ます形」が名詞述語文の述語に使われていても、文全体の意味は動作や状態を示すものになることを心得れば、日本語学習の初級段階でも、名詞述語文による日本語のアウトプットが期待できそうである。

5. 3. III グループ動詞の語幹が述語となる場合

「動作性名詞」と言われる III グループ動詞の語幹は、述語に使われると、中国語の訳文から分かるように、動作や状態を表すものになる。但し、多くの場合、助詞や副詞などの助けがなければ、中国語訳のような意味になりにくいのも言うまでもない。

- | | |
|---|-------------------|
| (89) 彼は今日もまた <u>遅刻</u> です。 | 他今天又迟到了。 |
| (90) <u>いよいよ</u> 到着です。 | 快到目的地了。 |
| (91) 李さんには <u>内緒</u> ですよ。 | 不要告诉小李哦。 |
| (92) 君の意見には <u>反対</u> です。 | 我不同意你的意见。 |
| (93) うちの会社なんか、厳しいリストラに加え、ボーナス <u>まで</u> カットなんだ。 | 我们公司不光裁员，连奖金都砍掉了。 |

5. 4. 接辞付きの名詞が述語となる場合

次の例文を見て分かるように、それぞれの中国語訳の意味になるには、接頭語の「大ー」や

接尾語の「一中」などが欠かせない。「一中」をはじめ、「一済み」のような接辞は、アスペクチュアルな意味に関与する表現形式なので、助動詞の役割を果たしている名詞と言えよう。このように、日本語では、接辞や造語成分は動作や状態を表す名詞述語文に大いに貢献している。

- | | |
|----------------------------------|--------------|
| (94) 今度の公演は <u>大</u> 成功でした。 | 这次公演取得了圆满成功。 |
| (95) 部長は今会議 <u>中</u> です。 | 部长正在开会。 |
| (96) その問題はもう解決 <u>済み</u> です。 | 那个问题已经解决了。 |
| (97) 彼は学校を休みが <u>ち</u> です。 | 他常缺课。 |
| (98) このテキストは初心者 <u>向</u> きです。 | 这本教材适合初学者。 |
| (99) ほら、またテレビのつけ <u>っぱなし</u> だよ。 | 你怎么又不关电视啊。 |

このパターンの名詞述語文には、美化語の「お」＋Ⅰ・Ⅱグループ動詞の「ます形」、美化語の「ご」＋Ⅲグループ動詞の語幹といった組み合わせがある。これらの組み合わせからできた名詞述語は、次のように、商業用語や改まった場面での挨拶など、敬語表現の一部として広く使われている。

- | | |
|---------------------------|-------------|
| (100) お散歩ですか。 | 您散步呢。 |
| (101) お出かけですか。 | 您出门啊。 |
| (102) お客さんがお見えです。 | 客人到了。 |
| (103) お持ち帰りですか。 | 您带走吗？ |
| (104) いつお立ちですか。 | 您几时动身？ |
| (105) 今年の夏休みはどちらでお過ごしですか。 | 您今年暑假在哪儿过啊？ |
| (106) みんなお揃いですか。 | 大家都到齐了吗？ |
| (107) 履歴書はお持ちですか。 | 履历书带来了吗？ |
| (108) 先生、お呼びですか。 | 老师，您找我？ |
| (109) どちらにお勤めですか。 | 您在哪儿工作啊？ |
| (110) それはご心配ですね。 | 那您一定很担心吧。 |
| (111) こちらでお召し上がりですか。 | 您在这儿吃吗？ |
| (112) お会計はご一緒ですか。 | 帐、一起结吗？ |
| (113) ご新規のお取引ですね。 | 要开新账户吗？ |
| (114) ご注文は、お決まりですか。 | 您用点儿什么？ |
| (115) 500 円のお返しです。 | 找您 500 日元。 |

敬語は学習者にとって習得しにくい項目の一つである。普段よく使うことは敬語習得のコツなので、名詞述語文による敬語表現を積極的に使えば、学習者の敬語アレルギーを防ぐことができそうである。

5. 5. 慣用句や慣用表現が述語となる場合

名詞述語文には、慣用句や慣用表現が名詞代わりに名詞述語に使われるものもよく見られる。慣用句や慣用表現には、事態に対する説明、評価などを表す点においては文相当のものが多いので、慣用句や慣用表現が名詞述語に使われる場合、字面からでは意味の把握ができないものも少なくない。中には、中国語の熟語で対応させるものもあれば、ケースバイケースで訳す工夫をしなければならないものもある。

- (116) 彼のやり方は横紙破りです。 他太蛮不讲理了。
- (117) 彼の囲碁評論は玄人はだしです。 他的围棋评论比行家还行家。
- (118) 彼の態度はどっちつかずです。 他的态度模棱两可。
- (119) 今度のハイキングは雨天決行です。 下次的郊游雨天照常。
- (120) 君の頼みはできない相談だ。 你的忙我帮不了。
- (121) あの二人は犬猿の仲です。 那两个人合不来。
- (122) 後悔しても後の祭りです。 后悔也来不及了。
- (123) 彼の命も風前の灯です。 他的生命危在旦夕。
- (124) 私のピアノは下手の横好きです。 我喜欢弹钢琴但弹得不好。
- (125) 彼は丈夫で病知らずです。 他身体很结实，从不得病。
- (126) 彼の家はかかあ天下だ。 他家他老婆说了算。
- (127) 彼女は痩せの食いですよ。 你别看她瘦，吃的可不少。
- (128) 四歳の子供がこんなに字を知っているなんて、たいしたものです。
一个四岁的孩子识这么多字，真了不起。
- (129) その人と私は赤の他人です。 我不认识他。
- (130) 世の中は持ちつ持たれつだ。 人活着要靠朋友。
- (131) 周囲を完全に包囲したから、犯人はもう袋のねずみだ。
四下里都包围得如铁桶一般，这下他别想再逃了。
- (132) 図体は大きいが蚤の心臓だ。 别看我个子大，但我很容易怯场。
- (133) 彼の説明は舌足らずだ。 他的解释含混不清。
- (134) この程度の見直しでは焼け石に水だ。 这点改善根本解决不了问题。

中国語では、“龙虎斗（竜と虎の戦い）”という言葉があるように、人間同士の不仲を表すのによく龍と虎を用いられるが、日本語では、「犬」と「猿」になっている。

慣用表現の裏には日本事情や日本人のものの考え方が隠されているため、慣用表現からできている名詞述語文の習得は、日本文化や日本社会を知る契機にもなる。また、簡潔なわりに、決まった意味や字面以上の意味合いを持つのが慣用表現の醍醐味なので、シンプルな構文形式で馴染ませると、表現主体⁴の表現力の伸びに繋がってくる。

5. 6. 締め括りの名詞述語文

このパターンの名詞述語文は、「文末名詞文」とも（新屋：1989）「体言締め文」（角田：1996）とも言われてきた。中国語母語話者にとっては、産出しにくい名詞述語文の一つである。

- (135) これははるか昔に起こった物語です。 这个故事发生在很久很久以前。
- (136) あの人はあっさりした性格です。 那个人性格很开朗。
- (137) 彼女はいくら食べても太らない体質だ。 她怎么吃也吃不胖。
- (138) これは彼の弱点をまざまざと見せつけた出来事だった。
这件事情清清楚楚地显露他的弱点。
- (139) このごろ経営はギリ貧の状態だ。 最近生意越来越不好做。
- (140) こんな暖冬ですと、ほとんど春のような感じです。
冬天这样暖和，倒有点儿像春天。
- (141) 映画館で6時に打ち合わせの約束だ。 约定6点在电影院见面。
- (142) 親子なのに似ても似つかぬ顔だ。 虽说是父子，长得却毫无相似之处。

(143) これは一日がかりの仕事ですね。 这个工作要花一天时间。

(144) 不景気の波にもまれて、中小企業はあつぷあつぷの毎日だ。

受经济萧条的影响，中小企业的日常处境十分艰难。

(138) や (144) の中国語訳を見る限りでは、このパターンの名詞述語文の述語名詞は訳さなくてもよさそうであるが、訳文全体の意味に関わる名詞なので、直訳ではなく意識の工夫が必要である。

6. 名詞述語文の習得

以上見てきたように、日本語の名詞は単純語のほかに、複合名詞など、品詞の中でもっとも構成メンバーの多いものである。このような名詞が述語に使われる名詞述語文も構文形式がシンプルでありながら、動作を表したり、状況や状態を表したりして、その表現領域がかなり広い。しかし、このような名詞述語文に焦点を当てた指導法の開発は遅れている。

学習者にとって、“是” なしで訳す名詞述語文は理解しやすいが、アウトプットしにくい。従って、日本語の名詞述語文を提示するだけの指導では、真の名詞述語文の習得が望めない。必要なのは、中国語による動作や状況についての描写を日本語の名詞述語文で表現させる訓練である。日本語の名詞述語文をパターン化することによって、日中両国語の対応関係を把握させるのも一つの手であろう。

名詞述語文に慣れてくると、名詞以外の品詞が名詞代わりに述語に使われている次のような表現の習得もスムーズになると思われる。

(145) お父さんにそっくりですね。

你长得真像你父亲。

(146) さっき注文したんですが、まだですか。

刚才点的菜，还没好吗？

(147) 昨日、スーパーで李さんとばったりでした。

昨天，在超市碰到了小李。

(148) 電車の中はがらがらだ。

电车里空荡荡的。

(149) この車は7人でぎりぎりです。

这车最多能挤7个人。

(150) 疲れて一步も歩けないくらいだった。

累得连一步都走不动了。

(151) お誕生日はもうすぐですね。

你的生日快到了吧。

(152) あの人の日本語はまあまあです。

他的日语还凑合。

(153) それは何よりです。

那太好了。

(154) 昼休みは何時までですか。

午休到几点？

(155) ここから駅まで10分ぐらいだ。

从这儿到车站大概要10分钟左右。

(156) 一日中歩き回ってもうくたくたです。 东奔西跑地转了一整天，已经累得筋疲力尽了。

次のような言い方は、通常文型として指導してきたものであるが、名詞述語文と関連付けて指導していくと効果的であろう。

(157) すぐ謝るべきだ。

应该马上道歉。

(158) 羨ましい限りです。

真令人羡慕。

(159) 帰国したばかりです。

刚回国。

日本語では、実質的な意味のない「こと」「ところ」「もの」「ほう」といった単語は、実質的な語彙の意味をもつ「実質名詞」に対して「形式名詞」と位置づけられている。中国語にない

表現形式であるため、習得しにくい言い方の一つである。これも名詞述語文という枠組みの中で指導すべきだと思われる。

- | | |
|---------------------------|-----------|
| (160) 花沢さんなら、よく知ってるはずだね。 | 花泽应该知道。 |
| (161) 山田さんは今日欠席するとのことですよ。 | 说是山田今天缺席。 |
| (162) お年寄りには席を譲るものですよ。 | 应该给老人让座的。 |

7. おわりに

日本語教育の現場では、名詞述語文の指導は初級段階の指示詞主語の名詞述語文に限られているように思われる。そして、日本語の指導は一方通行になりがちである。つまり、日本語の意味が分かればそれでいい。その日本語に対応する中国語に注目する余裕はない。表現形式の違いは発想の違いから来ているので、日本語の名詞述語文には日本人の物の考え方が秘められていると考えられる。

外国語学習の早い段階で、その言語を使ったコミュニケーション活動ができることが望ましい。学習者により刺激になるし、その後の学習にとっても有益だからである。

日中対訳上、対応関係にある名詞述語文の使用範囲やコミュニケーション上の機能の面での対応関係などを今後の課題にしたい。

名詞述語文の研究においては、本論は序論的な考察であるが、中国語母語話者の日本語の習得だけではなく、日本語母語話者の中国語の習得にも役立つことが期待できよう。

本稿の考察結果が今後の授業や教材に反映されれば幸いである。

註

- ¹ 実際の言語コミュニケーションにおいては、「だ」以外に、「です」「である」「であります」「でござる」「でございます」といった形式もあるが、これらの形式の代表として、「だ」を用いることにする。また、「だ」のすべての活用形も含まれる。
- ² あくまでも「是」なしで中国語に訳すことのできるもの」で、「是」なしで中国語に訳さなければならない」というものではない。
- ³ 学校文法では、動詞を①「五段動詞」、②「上一段動詞」、③「下一段動詞」、④「カ変動詞」、⑤「サ変動詞」の五つに分けているが、日本語教育では①を「Ⅰグループ動詞」、②と③を「Ⅱグループ動詞」、④と⑤を「Ⅲグループ動詞」と呼ぶ。本稿では、日本語教育の用語を用いる。
- ⁴ 村木新次郎（2007）「名詞のようで名詞でないものー日本語の品詞体系のみなおしをかねてー」参照。
- ⁵ ここでは、「話し手」と「書き手」を纏めて、「表現主体」と言う。

参考文献

- 高橋太郎（1984）「名詞述語文における主語と述語の意味的な関係」
『日本語学』3
- 日本語教育学会編（2005）『新版日本語教育事典』大修館書店
- 村木新次郎（2007）「名詞のようで名詞でないものー日本語の品詞体系のみなおしをかねてー」
赵华敏杨华彭广陆村木新次郎编《日本語と中国語とーその体系と運用ー》
p1-14 学苑出版社
- 王燕（2010）《从日语教学的角度看日语授受表达方式》中国社会科学出版社

例文出典

彭广陆・守屋三千代总主编（2010）《综合日语》第一册修订版 北京大学出版社
姫野昌子監修（2007）『日本語表現活用辞典』研究社
泉原省二（2009）『日本語教師のための Q&A』研究社
長谷川正時（2006）『通訳メソッドを応用したシャドウイングで学ぶ中国語難訳語 500』
スリーエーネットワーク
松本節子（代表）（2010）『日本語能力試験 N3 聞く』（株）ユニコム
星野恵子・松本節子編著（2010）『日本語能力試験 N5 読む』（株）ユニコム
杉本達夫・牧田英二共著『クラウン日中辞典』三省堂
贾黎黎主编（2011）《日汉笔译教程》 北京语言大学出版社